

白石の新鮮野菜 う〜んとうまいから、食べてみてけらい〜ん！

～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～

白石市農産物直売所連絡協議会では会員を募集しています。市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。

☎農林課 ☎22-1253



羽山産直市場わんこの家

【直売所】9:00～18:00 年中無休

【レストラン】11:30～14:00 水曜日定休

新鮮野菜直売所&地元産食材レストラン。新鮮野菜をはじめ、地元産の商品を取り揃えています。

●場所 白川犬卒都婆字岩ノ上32-2 (国道113号角田方面沿い)

☎羽山産直市場わんこの家

☎35-1022



馬牛沼産直センター

毎週火・木・土・日曜日 9:00～17:00

●場所 国道4号沿い馬牛沼付近

☎馬牛沼産直センター

☎25-0520



小十郎の郷 ～農産物生産者募集中～

年末年始を除いて毎日9:00～18:00営業！

●場所 福岡長袋字八斗時1

☎小十郎の郷 ☎22-0881

http://www.kojuro-sato.com



軽トラ市 毎週金曜日9:00～12:00

新鮮野菜を安く販売！

●場所 すまいるひろば

☎四電 ☎29-2451、090-9429-6145

「直売所マップ・農産物カレンダー」をリニューアルしました！

白石市農産物直売所連絡協議会では、各直売所の販売調査結果をもとに、「白石市農産物カレンダー（平成29年度集計）」を作成しました。裏面には「農産物直売所マップ」を掲載し、農産物の旬の時期が分かるように「SSN48」のキャラクターで紹介しています。持ち歩きに便利なポケットサイズ版も。各直売所や白石市観光案内所、市役所で配布中！



青っ葉市直売所

月1回の「サービスデー」（定期市）を月初めの販売日に開催。お買い上げ金額にかかわらず、好きな新鮮野菜1点をサービスします。

①ポーチパーク内

毎週水・土曜日9:00～12:00

②本郷店（旧国道113号角田街道踏切そば）

毎週水曜日9:00～12:00

※マルホンカウボーイ白石東店でも販売しています。

☎矢内 ☎25-2061

バーバ工愛市

今月のオススメは、旬の野菜のほか、生花、漬物、豆味噌、笹巻き、ゼリーなど。

①白石店（城北町・あそびの森近く）

毎週水曜日9:00～12:00

②JAみやぎ仙南福岡支店構内店

毎週土曜日9:00～12:00

☎JAみやぎ仙南女性部白石地区バーバ工愛市

☎25-3531

小原いきいき直売所 都合により休業します。

●場所 小原材木岩公園内

☎小原公民館 ☎29-2031

※各直売所では、白石産の新鮮な旬の野菜や花、漬物などを販売しています（直売所により品ぞろえは異なります）。

※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。「SSN」は「白石・新鮮・農産物」の略称です。

俳壇

釣り人の白石川や夏近し
一枝折り兄の棺に梅の花
花の咲く庭に吾をば忘れをり

星 末吉アツ子
明 高子うぶん

山家弘子選

評 一首目、葉だろわか。聞くは奥さま、将
また、誰か。こんな詠み方があっていい。
二首目、春の街の一景、花屑の流れを明る
く詠んでいる。「寄せて」の寄せは他動詞、
引き寄せての意。
三首目、花の庭を弄る、それだけのこと、
うたは何でもない風のようなものでもある。

評 一首目、葉だろわか。聞くは奥さま、将
また、誰か。こんな詠み方があっていい。
二首目、春の街の一景、花屑の流れを明る
く詠んでいる。「寄せて」の寄せは他動詞、
引き寄せての意。
三首目、花の庭を弄る、それだけのこと、
うたは何でもない風のようなものでもある。

評 一首目、葉だろわか。聞くは奥さま、将
また、誰か。こんな詠み方があっていい。
二首目、春の街の一景、花屑の流れを明る
く詠んでいる。「寄せて」の寄せは他動詞、
引き寄せての意。
三首目、花の庭を弄る、それだけのこと、
うたは何でもない風のようなものでもある。

勸められあれもこれもと試しけりどうかと聞
かれまあと答う 門脇 貞造
沢端川ながれの小渦はないかだ寄せては解
紋様たのし 遠藤 舞
あたたかき日には朝より花の庭老いをわすれ
てしばらく弄る 高子うぶん
おととと友の注ぐ酒こぼしたり拭くは勿体
なく吸り舐むるも 高橋 政男
友のメールの写真羨しよ春を呼ぶ福寿草など
庭にあらねば 大庭美智子
約束も誓いの言葉もいりません君がそうして
微笑むだけで 安藤 聡
瀬戸内を離れて久し半世紀潮風を恋ひしま
みを恋ふ 日下 栄子
今年また会えませんでしたねえ校庭のソメイヨシノ
に両の手当てる 寺崎 悦子
眠らんとあせればますます眠れず兄の急逝
しばし思わる 末吉アツ子
鮮やかに咲き誇りたる糸桜一夜の雨に色あす
るなり 大野 文雄

歌壇

岩崎 聰之介 選

市民文芸

柳壇

窓越しに千本さくらローカル線
救護よりしきたりですか大相撲
手がとどく九十歳ってどんな歳
お出掛けは軽便先の杖一つ
老いの身に猫が安らぐ膝の上
花の宴陣取り合戦苦勞する
北めざし桜のバトン加速する
目も鼻も滅茶苦茶にして花粉症
週一回運気望んで布団干す
北の窓開けて蔵王の雪解見る

大野 文雄
安藤 聡
佐藤 啓子
末吉アツ子
星 明

評 一句目、桜満開の時期、列車の速度を落
として走るJR。ひと時花見の気分が味わえ
る。「花も実もある」JRの粋な計らい。
二句目、救護のため土俵に上がった女性に
下りるようアナウンスした協会。土俵の女神
の逆鱗に触れるとして物議を醸している。
三句目、人生五十年の時代からすると現代
は隔世の感がある。まだ足を踏み入れたこと
のない九十歳。黄泉の世界に立ち入る気分が。

評 一句目、釣り人達の初夏を待っているの
は川魚の王の鮎であろう。鮎漁解禁の日にな
ると一斉に鮎釣りに押しかける日も近い。
二句目、梅の花をよなく愛した兄の棺の
中に、庭の梅を手折り入れてやった。兄を悼
む心情が描けた。
三句目、満開の花の美しさに心を奪われ刻
を忘れてしまふ、作者の感性。

評 一句目、釣り人達の初夏を待っているの
は川魚の王の鮎であろう。鮎漁解禁の日にな
ると一斉に鮎釣りに押しかける日も近い。
二句目、梅の花をよなく愛した兄の棺の
中に、庭の梅を手折り入れてやった。兄を悼
む心情が描けた。
三句目、満開の花の美しさに心を奪われ刻
を忘れてしまふ、作者の感性。

花疲れ真綿のやうに睡り落つ
早々咲き城跡早くも花吹雪
朝やけや風のやはらぐ春隣
二三輪梅ほころびぬ空家かな
とび入りの初音朝餉の箸を置く
足下を見れば可愛いふきのとう
山裾の鶯の声恋の歌

大庭美智子
門脇 貞造
佐藤 啓子
安藤 聡
佐藤正悟郎

藤多伊都子
大庭美智子
門脇 貞造
大野 文雄
佐藤 啓子
安藤 聡
佐藤正悟郎

100歳おめでとうございます
～松竹梅敬老祝金を贈呈しました～



▲日課は大好きな歌番組から流れる音楽を聞くこと



▲長年地元の消防団で活躍され勲六等単光旭日章を受章されています

いつまでも楽しみながら
元気に暮らすために

認知症を心配されている方や介護をされている方、認知症予防に関心のある方など、認知症に関する相談や情報交換ができる交流の場を開催しています。

- オレンジカフェ
- 日時 6月5・12・19・26日 (すべて火曜日) 9:30～11:30
- 場所 ふれあいプラザ2階
- 認知症家族のつどい
- 日時 6月26日(火)13:30～15:00
- 場所 セラビ白石店2階集会室
- ※予約などは必要ありません。
- ☎地域包括支援センター ☎22-1466